



## 今、首都圏同窓会は何をすべきか？

今後の同窓会を魅力あるものにするために、  
伊藤会長から、首都圏同窓会の次世代を担う 3 名の方々に忌憚のないご意見をうかがった。



写真：左から

司会 伊藤一徳  
首都圏同窓会会長（昭和 45 年卒）

ゲスト 木村美砂（平成 4 年卒）会社員  
伊藤恭一（平成 5 年卒）会社員  
洞田潤（平成 12 年卒）会社経営

■ 魅力ある首都圏同窓会にするには  
会長：今までの首都圏同窓会は、総会・懇親会がメインでしたが、今後は、川柳やウォーキングを楽しむ会を発足させ、より多くの瑞高卒業生が参加できる運営を考えています。

皆様には同窓会の活動を更に魅力あるものにするために、何か良いアイデアがあればお聞かせください。

伊藤：川柳を楽しむ会などに、瑞高卒業生だけでなく、瑞浪出身者が参加出来るようにしたらどうでしょう。

名称を「首都圏瑞浪市民会」などとして、その活動を「広報みずなみ」や商工会議所に PR していただき、首都圏同窓会を知ってもらえば、同窓会に参加する卒業生が増えると思います。



木村：2 年前から総会に出席して気になったのは、参加者の多くが高齢者だったことです。先輩方が作られた伝統的なこの同窓会を発展させていくには、首都圏に住む瑞高卒業生や瑞浪出身者に存在を認識していただくことが必要だと思います。

洞田：木村さんの思いと同じで、若い人に参加してもらおうインセンティブをどう与えていくかが、今後の課題です。若い年代の人が集まりやすいバーベキューや 1 人でも気軽に参加できるラフな飲み会などを企画すれば、参加意欲が高まるはずですよ。

また、どの世代でも楽しめる家族連れで料理を作って食べるのも良いかと思えます。さらに言えば、若い人が参加し易いように、先輩がある程度費用負担する仕組みを作ることも必要だと思います。

会長：昨年、多治見北高の同窓会に参加しましたら、卒業生で朝日新聞の記者が「わが子の見た目」を題材にした講演を懇親会の前に行っていました。

内容は、変形した顔で生まれてきた我が子と両親の苦難な体験談でしたが、非常に興味深く感銘を受けました。瑞高卒業生の中にも OEM メイクアップ化粧品リーディングカンパニーである株式会社トキワの社長・日比野さんのような成功ストーリーを語れる人もいますし、他にも何人かはいます。

洞田：大変面白い企画ですね。

私の同期で、瑞高を出てゲームメーカーの役員をやりながらゲームソフトを開発して、このゲームはこんなロジッ



クで作っているよと話すだけでも、多くの人が集まったと言っていました。

木村：年に 1 度の同窓会は少しハードルが高い気がします。同窓生と日々コミュニケーションができる仕組みがあって、いろんな情報が把握できれば、同窓会に参加するインセンティブが働くと思います。

とにかく最初の取っかかりが必要で、私の会社では 2 カ月に 1 度定期的な飲み会があり、強制力はないので気楽に参加しています。そんなのがあれば集まり易いと思います。

洞田：日頃から気軽に集まれるイベントを SNS で絶えず発信すれば、参加しようとするインセンティブが働くと思います。

また、同窓会は同級生がいるから参加しようと思うので、同級生が情報を共有できる仕組みがあればいいと思います。

■ 首都圏同窓会の役割って何？

会長：首都圏同窓会が果たすべき役割とは何だと思いますか。

伊藤：在校生の中で東京の大学を受験したい生徒を首都圏同窓会の総会に同窓会負担で招待して、翌日キャンパス見学させたらどうでしょうか。

木村：上京したばかりの頃は、寂しさの仕事する中での孤独感がありました。瑞高を卒業して首都圏の大学や就職する人を励ますのが、同窓会の役割だと思います。



洞田：瑞高卒業生が大学や就職で上京してきたら、楽しいイベントに誘い込んで、まず繋がりを持ち、その中でいろんなアドバイスをすればいいと思います。

また、首都圏で生活している瑞高卒業生は、発掘すれば1,000人くらいはいると思います。その中には財界をリードしている人がいるはずで、そんな人を中心にゆるい飲み会を定期的に関くのもいいと思います。

会長：どのような情報の流し方をすれば、発掘ができると思いますか。

洞田：まずはコストをかけずに、フェイスブックやインスタグラムなどを使って、画像だけでも発信していけば、

瑞高卒業生や瑞高に興味のあるフォロワーが付いてきて、そこから発掘の糸口が見つかると思います。

また、いろんな情報をフェイスブックに乗せてフォロワーが反応してくれるだけでも、同窓会との繋がりが持てるようになると思います。

会長：今、洞田さんから素晴らしいアイデアをいただきました。その作業、洞田さんをお願いできませんか。

洞田：何とか力になればと思います。最近は70~80歳の人でもフェイスブックやラインをやっています。

SNSを使って情報提供を小まめに行い、ゆるい集まりや飲み会で連帯感を深め、年1回の総会・懇親会に繋げていけばいいと思います。

■ 故郷に期待すること

会長：皆さんが故郷に期待することや、貢献できそうなことはありますか。

伊藤：近い将来リニアが開通すると、瑞浪市から都心やその先の海外まで生きやすくなります。商業・文化などすべてのジャンルで交流を深め、更なる発展を遂げてほしいと思います。



木村：瑞浪市の多くの人達は、地元に残っていて、自分の町の良さに気づいていない気がします。瑞浪市の良さをもっとアピールする取組みが必要だと思います。そういう取組みを首都圏でやられたら、協力します。

洞田：まずは瑞高を応援したい。今の瑞高は昔と比べて在校生の数も減って、進学や就職は地元志向になっている感じですよ。

経済活動や文化交流の中心はやはり首都圏です。もっと卒業生が首都圏に出てきて活躍し、財界や官界をリードする存在になってほしいと思います。首都圏でいろんな分野で活躍している瑞高卒業生がいます。その人達と在校生・父兄が交流する機会を作って、首都圏への進学や就職志向を高めてほしいと願っています。

会長：首都圏に住んでいる卒業生の皆さんは、育ててくれた瑞浪市や瑞高をいつまでも愛し感謝しながら、故郷の更なる発展を願っています。首都圏同窓会と致しましては、そのために出来ることは何でも協力したいと思っていますので、会員の皆様方には今後ともご支援・ご指導の程、何卒よろしくお願い致します。

令和2年2月吉日  
神谷町「城山ヒルズ」にて

川柳を楽しむ会  
活動中

昨年発足した川柳を楽しむ会は、前会長で江戸川柳研究家の小栗清吾さんのご指導の下、昨年9月と今年の2月の2回開催いたしました。

小栗先生のお話は江戸時代の男女の関係の川柳の解説が多く、会員皆、興味津津で、時を忘れて聞き惚れています。

第2回目の会合では、故郷を題材にし

まるで謎解き。江戸川柳は奥深い。先生の講義について目の前のお酒を忘れてしまいそうになります。



■小栗清吾先生

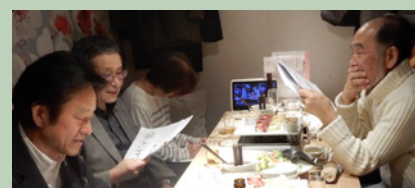
た作品を参加者1人3点を持ち寄り、先生から作品に寸評を頂きました。

初回にしてはまずまずの出来映え、との評価を頂きましたが、先生のアドバイスは以下の通りです。

- ・川柳は5・7・5を守る
- ・散文ではなく韻文が良い
- ・寂しいとか悲しいなどを使わず、感情が伝わる言葉を選ぶ
- ・現代川柳作家はダジャレを好まない

主な投稿作品

- ・想定外 大雨よりも 森田知事
- ・思い出は 桜並木 毛虫坂
- ・くに訛り 聞いて懐かし 中央線



- ・茜空 三国山に 日は落ちる
  - ・ぬけがたし 牛の呼ぶ声 今朝の床
  - ・突然の 同級生に 謙譲語
  - ・小里川の 白き流れも 今は蒼
  - ・また来いよ 寂しく笑う 額の母
- 評価の高かった作品

- ・朝ドラに ふるさと見たり 五平餅
- ・迷い道 三叉のベンが 道しるべ
- ・クラス会 話せば今も 十八歳

トピックス  
**TOPICS** 2019年度 瑞浪高校 新たな取り組み

2023年11月には創立100周年を迎える歴史と伝統を持つ我が母校  
今後の益々の発展のために、卒業生も力を結集して新しい取り組みを応援しよう

**1. 念願のスクールバス運行**

昨年4月から校内に乗り入れるコミュニティバスが、登校時2便運行。校内にバス停設置。



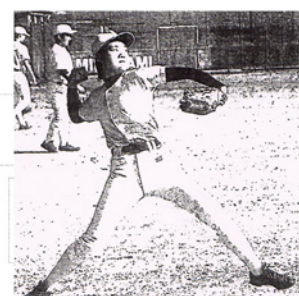
**2. 体育館改修工事完成**

昨年9月から始まった改修工事が1月に完成。2月から使用出来て、卒業式はリニューアルした体育館で。



**3. 軟式野球部に女子が入部**

今年度1年生の女子が入部。技術面では同級生を凌ぐ実力で、新聞に2度掲載された。



**4. 総合探求授業開始**

昨年10月～12月、1年生普通科は地域団体と連携して次のA～Fの「地域探求学習」に取組み、代表者が1月23日の卒業実践発表会で報告した。



**C. 半原力ボチャを救え**

(伝統野菜生産者・飲食店と連携販促)



**F. ユーチューブ部**

(各活動の取材、映像作成)



**5.100周年行事取組み開始**

1月20日に第3回運営協議会が開催され組織と代表者が決まりました。

事務局：岐阜県立瑞浪高等学校 総務部  
事務局の連絡先：電話番号 (0572) 68-4161  
代表者：瑞浪高校同窓会長 加藤健二氏

**A. マイペース瑞浪**

(市議と連携し課題の提言と意見交換)



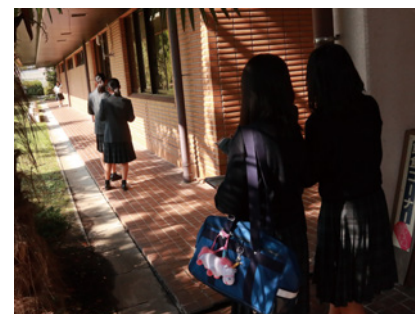
**D. 東濃のハチミツ**

(製造工程の学習と販売促進)



**6. 生徒昇降口がカラフルに**

ミッフィー作品でおなじみの「ディック・ブルナー」の世界感が広がっている。



**B. 響けセラニーナ**

(陶の製陶所と提携し陶器のオカリナの制作・販売促進)



**E. 中山道大湫宿英語で案内**

(外国人を地域ガイドと連携して)





2019年6月1日開催 於：有楽町中国料理「過門香點」



勝副市長



増田校長



## 第25回総会のご報告

- 会員参加者 43名 (男性35名 女性8名)
  - ご来賓参加者 8名
- |             |        |
|-------------|--------|
| 瑞浪市副市長      | 勝 康弘様  |
| 瑞浪高校校長      | 増田文代先生 |
| 瑞浪高校総務部長    | 奥田哲也先生 |
| 瑞浪高校同窓会長    | 加藤健二様  |
| 瑞浪高校副会長     | 田中 定様  |
| 瑞浪市連合自治会長   | 伊藤修二様  |
| 恵那高校(城陵会)代表 | 伊藤和徳様  |
| 中津高校関東OB会長  | 青山伸昭様  |

## 首都圏同窓会会計報告

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日 単位：円

| 収入の部      |                  | 支出の部      |                  |
|-----------|------------------|-----------|------------------|
| 総会会費      | 336,000          | 総会費用      | 512,830          |
| 寄付・祝儀     | 170,000          | 通信費       | 24,118           |
| 預金利子その他   | 5                | 事務費       | 0                |
|           |                  | 会議費       | 17,232           |
|           |                  | 慶弔・交際費    | 0                |
|           |                  | 印刷・コピー費   | 65,232           |
| 前期よりの繰越金  | 615,343          | 次期繰越金     | 501,936          |
| <b>合計</b> | <b>1,121,348</b> | <b>合計</b> | <b>1,121,348</b> |

## 第13期新役員紹介

- 会 長：伊藤一徳 (45年卒)
- 副会長：長谷川周三 (45年卒)
- 〃：加藤桂吾 (46年卒)
- 幹事長：宮田栄子 (46年卒)
- 副幹事長：水野久志 (47年卒)
- 〃：川野勝喜 (54年卒)
- 監 事：塚本信行 (41年卒)
- 〃：三宅保信 (42年卒)
- 会 計：安藤克子 (37年卒)

## 2020年の活動予定

1. ホームページの開設
2. ウォーキングを楽しむ会の発足
2. 写真撮影を楽しむ会の発足
4. 川柳を楽しむ会への参加キャンペーン
5. SNSを使った情報提供
6. 飲み会などの気軽な会合の設置
7. 岐阜県人会の若者向けの催し物参加
8. 広告・寄付の募集キャンペーン
9. 首都圏に住む瑞高卒業生の発掘PR

## ❖歴史のある我が郷土❖

瑞浪高校校歌の3番は“鶴ヶ城趾に花咲きて”で始まります。実はこの鶴ヶ城は戦国の時代、神野城とも謂われ、大河ドラマ『麒麟がくる』の主人公・明智光秀が、織田信長と共に2度に渡り布陣した城なのです。

天正2年(1574年)2月6日には、武田勢の恵那明智城侵略の備えに、天正10年(1582年)3月10日は、信玄亡き後、織田勢が信濃・甲斐を侵攻する際の拠点にした時です。

瑞浪高校OBには日比野、水野、酒井、塚本、小木曾、小栗、加藤などの源氏ゆかりの名字が多くみられますが、その人達の祖先は織田勢だったか、それとも武田勢だったか？ 戦乱の世、どちらにせよ、郷土で命をかけて戦い、生き抜いて来た猛者達です。副会長 加藤桂吾

世代を越えてつながり、共に感動しましょう。

広告に協賛いただいた皆様を掲載しました。  
感謝御礼申し上げます。 会長：伊藤一徳  
(個人広告はアイウエオ順)

幹事

伊東 和子

36年卒  
瑞浪市日吉町出身

顧問

小栗 清吾

33年卒  
瑞浪市日吉町出身

幹事 (HP 担当主任)

加藤 辰彦

46年卒  
瑞浪市稲津町出身

監事

塚本 信行

41年卒  
土岐市駄知町出身

顧問

永井 士郎

33年卒  
瑞浪市陶町出身

幹事

平野 正敏

29年卒  
瑞浪市土岐町出身

監事

三宅 保信

42年卒  
瑞浪市陶町出身

会計幹事

安藤 克子

37年卒  
瑞浪市釜戸町出身

会長

伊藤 一徳

45年卒  
瑞浪市寺河戸町出身

副会長

加藤 桂吾

46年卒  
土岐市駄知町出身

顧問

下條 宗男

32年卒  
瑞浪市日吉町出身

幹事 (会報編集長)

虎澤 昭久

45年卒  
土岐市土岐津町出身

副会長

長谷川 周三

45年卒  
土岐市土岐津町出身

副幹事長

水野 久志



47年卒  
瑞浪市稲津町出身

幹事長

宮田 栄子

46年卒  
瑞浪市稲津町出身

瑞浪ポーノポークをはじめ牛肉、ラム肉、鴨肉などを、煮込み・グリル・蒸しなど色々な調理法で提供している小さなビストロです。季節の野菜・魚介も取り入れて毎日メニューを更新しております。リーズナブルなサイドメニューも充実しているので居酒屋感覚で気軽にお越しください！



**GINA** 東京都中央区日本橋小伝馬町1-4-7  
☎03-6661-7172

GINA は地下鉄日比谷線小伝馬町駅から馬喰町に向け徒歩3分。小伝馬町界隈では奇跡の店と評判を頂いた、味も雰囲気も抜群なセンスを備えたイタリアン・レストラン。評判の高い肉料理の他にパスタは最高ランク。ぜひお寄りください。

鯨の胃袋は東京のシンボルタワー「虎ノ門ヒルズ」の近くにあり、連日、虎ノ門や霞ヶ関界隈のビジネスマンにひいきにされています。日本酒・焼酎は名立たる銘柄を揃え、魚料理は新鮮で味わい深いものがあります。ぜひお寄りください。

酒と肴とお食事と

**鯨の胃袋**  
KIJIRA NO IBUKURO

03-6206-1185  
東京都港区西新橋 2-14-7 壹井ビル2F  
平日ランチ 11:30~14:30 (L.O.14:00) 夜 17:00~24:00 (L.O.23:30) 日-祝日休

